

研究協力をお願い

昭和大学病院附属東病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

外傷性視神経症の視野分類とその変化の検討

1．研究の対象および研究対象期間

2013 年 1 月 1 日から 2024 年 7 月 31 日の期間に昭和大学病院附属東病院 眼科にて、外傷性視神経症と診断された患者さん（初診日が受傷日から 3 カ月以上経過している患者さんを除く）

2．研究目的・方法

外傷性視神経症は、微網外側を強打することにより直後より急激な視力視野生涯を生じる疾患です。外傷性視神経症の視野障害のパターンは多彩であり、先行研究ではいくつかの報告がありますが、視野のパターンに規則性があることが報告されている例は少ないです。そこで、本研究では外傷性視神経症の視野のパターンに規則性を見出すことができれば、患者さんの予後の視野パターンが解明されと考え、経時的な変化の有無の観点から調査を志すに至りました。昭和大学病院附属東病院 眼科にて外傷性視神経症と診断された患者さんのうち、初診日が受傷日から 3 カ月以内の方の初回の動的視野検査（GP）のデータと最終の動的視野検査（GP）のデータの視野パターンの分類を行います。

3．研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2026 年 05 月 31 日まで

4．研究に用いる試料・情報の種類

病名、生年月日、年齢、性別、受傷日、初診日、受傷眼、受傷機転、初診時視力、最終受診日視力、初診時視野（GP）検査結果、最終視野（GP）検査結果、治療方法を調査対象とします。

５．外部への試料・情報の提供

該当いたしません

６．研究組織

昭和大学病院附属東病院

研究責任者 昭和大学病院附属東病院 眼科 教授 恩田 秀寿

７．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学大学院 保健医療学研究科

住所：東京都品川区西中延 2-1-16

氏名：妻鳥 文香

電話番号：03-3784-8553